

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 5 年 6 月 28 日

福岡県知事 服部 誠太郎 殿

提出者

住 所 福岡県久留米市東櫛原町487

氏 名 金子建設株式会社

代表取締役 金子泰大

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0942-31-0001

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和4年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	金子建設株式会社 各現場、資材倉庫
事業場の所在地	久留米市東櫛原町487
事業の種類	総合建設業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1772.000 t	全処理委託量	1772.000 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への 処理委託量	0.000 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への 処理委託量	1772.000 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への 処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	140.100 t

※事務処理欄

(日本工業規格 A4版 28号)



(第2面)

計画の実施状況 (産業廃棄物の種類 : コンクリートがら)

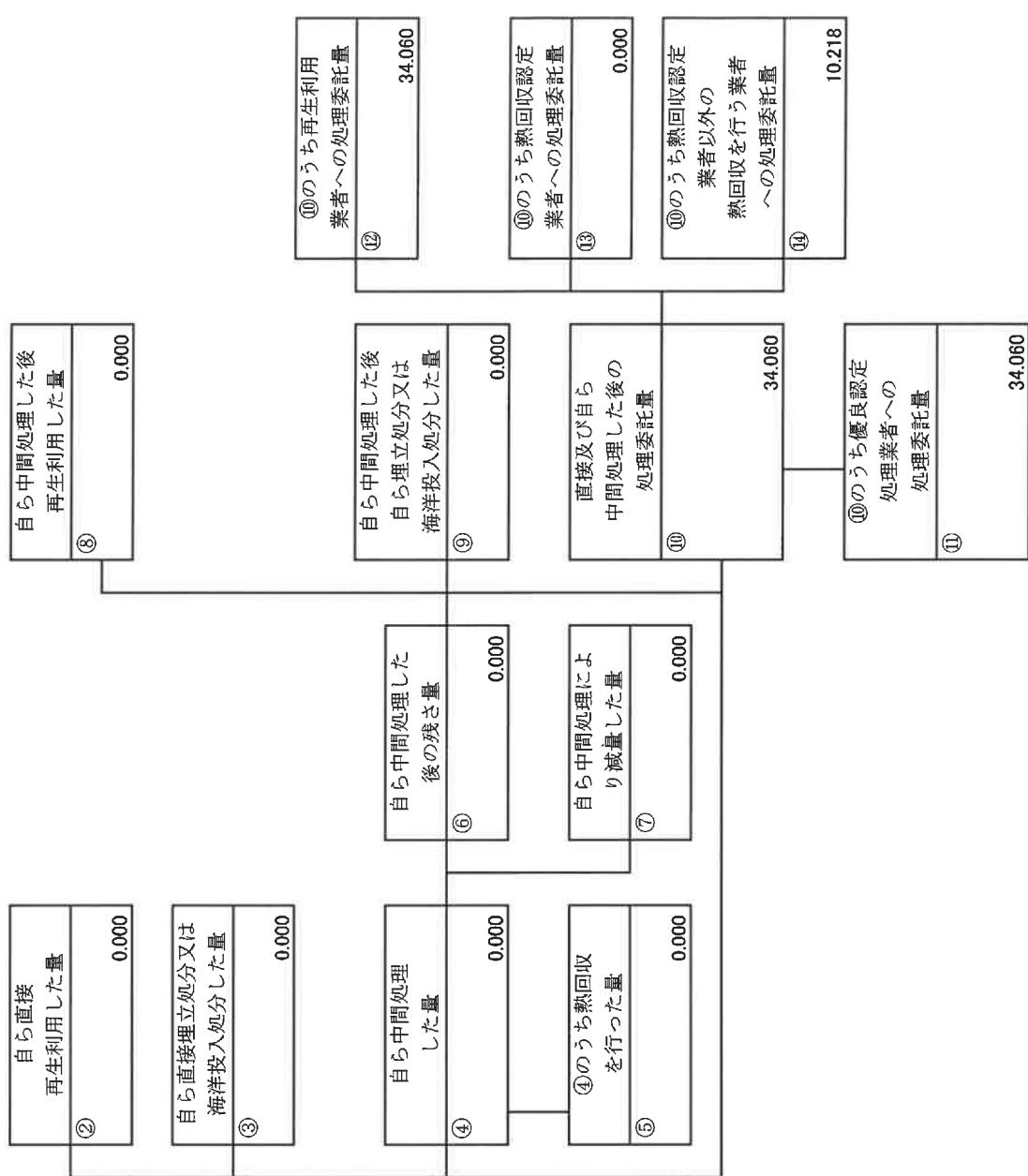
項目	実績値		
①排出量	0.444	自ら中間処理した量	④ 0.000
②+③自ら再生利用を行った量	0.000	自ら中間処理による減量を行った量	⑤ 0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000	自ら中間処理により減量した量	⑦ 0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000	自ら中間処理により減量した量	⑧ 0.000
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000	自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩ 0.000
⑪全処理委託量	0.444	自ら中間処理した後再生利用した量	⑫ 0.000
⑪優良認定業者への処理委託量	0.444	自ら中間処理した後再生利用した量	⑬ 0.000
⑫再生利用業者への処理委託量	0.444	自ら中間処理した後再生利用した量	⑭ 0.000
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000	自ら中間処理した後再生利用した量	⑮ 0.000
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	自ら中間処理した後再生利用した量	⑯ 0.000
		⑩のうち再生利用率	0.444
		⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0.444
		⑫のうち再生利用率	0.444
		⑬のうち熱回収認定業者への処理委託量	0.000
		⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設混合廃棄物)

有 債 物 量		不 要 物 等 発 生 量	
	排 出 量	①	34.060
①排出量	34.060	実績値	
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.000		
⑤自ら熱回収を行った量	0.000		
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000		
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000		
⑩全処理委託量	34.060		
⑪優良認定業者への処理委託量	34.060		
⑫再生利用業者への処理委託量	34.060		
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000		
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	10.218		



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類)

木<す

有 債 物 量	
不 要 物 等 発 生 量	
排 出 量	
①	1.100
項目	実績値
①排出量	1.100
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	1.100
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.100
⑫再生利用業者への処理委託量	1.100
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収をを行う業者への処理委託量	0.330

自ら直接 再生利用した量	②	0.000
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	0.000

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した量	④ 0.000	自ら中間処理した後の残さ量	⑥ 0.000	自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨ 0.000
④のうち熱回収を行った量	⑤ 0.000	自ら中間処理により減量した量	⑦ 0.000	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬ 0.000
⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪ 0.330	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩ 1.100	⑪のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑫ 1.100

(第2面)

計画の実施状況

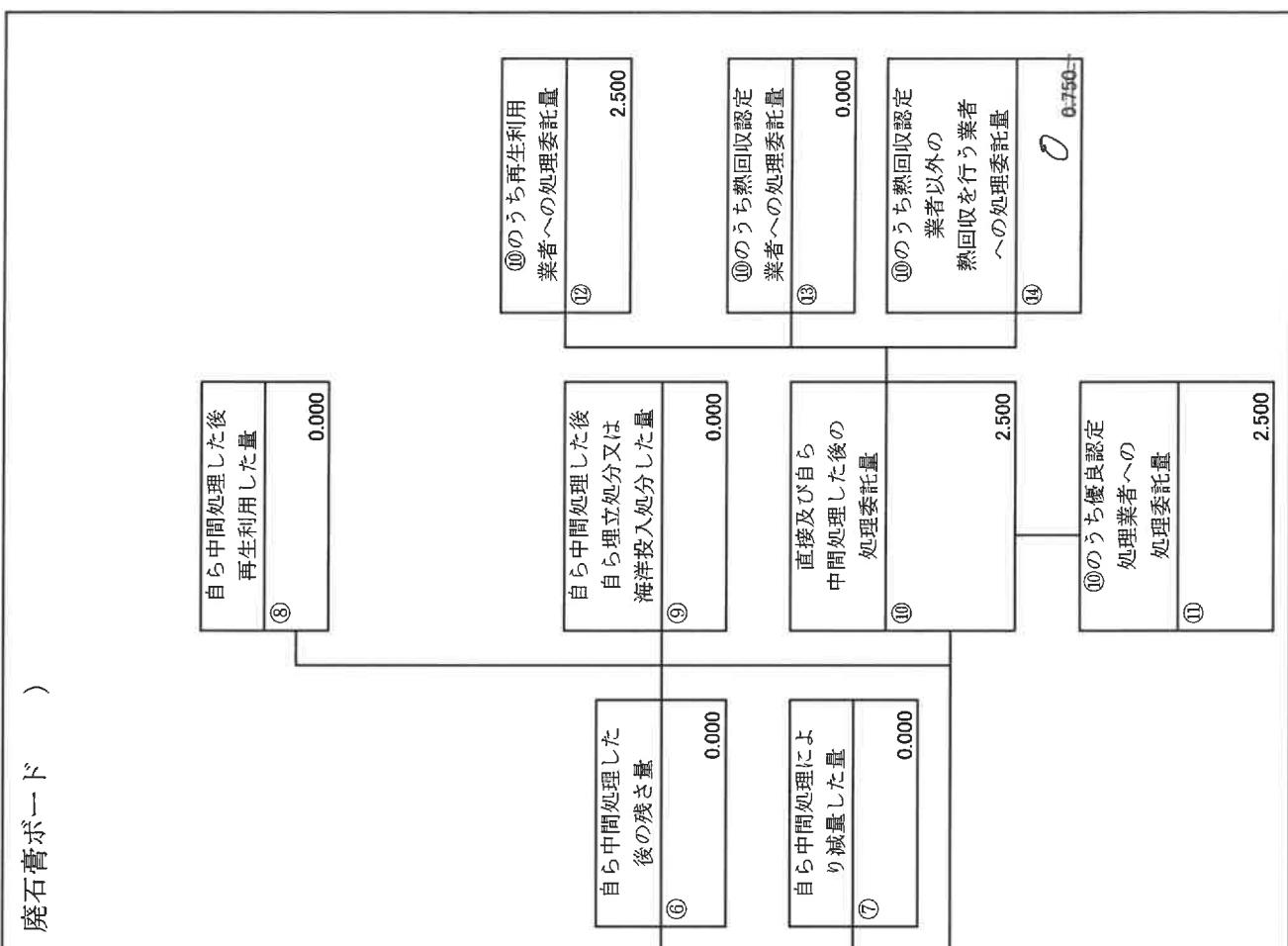
(産業廃棄物の種類 : 廃石膏ボード)

有 債 物 量
不要物等発生量

不 妨 物 等 発 生 量
自ら直接 再生利用した量 ② 0.000

排 出 量
① 2.500

項目	実績値
①排出量	2.500
②+③自ら再生利用を行った量	0.000
⑤自ら熱回収を行った量	0.000
⑦自ら中間処理により減量した量	0.000
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.000
⑩全処理委託量	2.500
⑪優良認定処理業者への処理委託量	2.500
⑫再生利用業者への処理委託量	2.500
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.000
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	0.750



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。